

### 金堂まち探検 かるた作成

金堂まちなみ保存会の事業の一環で昨年八月、子ども会の皆さんとともに「金堂まち探検Ⅱ」を実施しました。

実施に当たっては、愛知産業大学大学院教授でNPO法人まちの縁側育み隊代表理事の延藤安弘先生にご指導いただき、滋賀県立大学、立命館大学の学生の皆様にボランティアでご協力いただきました。まち探検Ⅱは「感動」し、「体験」したことを「表現」することが目的です。今回は子供たちの目線で見えた金堂の魅力を「かるた」で表現します。当日は、外村繁郎・旧中江富

十郎家を中心に探検を行いました。探検の際には金堂町のお宝をデジカメにて撮影し、探検手帳に記録を残します。この写真と記録を元に「かるた」を作成します。

ところが、子供たちが作成した「かるた」だけでは札が足りません。そこで、ボランティアで参加したメンバーに、不足分の「かるた」を作成していただきました。



当日は三十名の子供たちの参加のもと、保護者役員の皆様も参加していただきました。ボランティアの大学生が読み手となり読み札が読まれると、子供たちは一斉に絵札に殺到します。皆目を輝かせて「かるた取り」に興じていました。おかげさまで楽しく有意義なひと時を過ごすことができました。

第二十一回 錦鯉品評会  
近江商人のふるさと  
五個荘金堂町を訪ねる  
日時 四月二十七日(日)  
午前九時から午後四時  
場所 東近江市五個荘  
農村環境改善センター  
(生き活き館)  
特別企画  
先着百名に鯉の稚魚プレゼント  
ント(100名程度)



口主催 (社)全日本鯉会滋賀県支部 NPO法人金堂まちなみ保存会

編集後記  
金堂まちなみ保存交流会館が新年度開館します。近江商人本宅の保存再生例・金堂の文化遺産生かしの場、そして癒しの場として、皆さんに親しまれることを願っています。

今後まちなみ保存会ニュースを通して皆さんに現況をお伝えしていきます。

(西村 弥市)

### 法人化一年を振り返って

組織の強化を図り、新しいまちづくり推進の一翼を担うべく、金堂まちなみ保存会は昨年法人化を実施し、特定非営利活動法人金堂まちなみ保存会となりました。そして市民主役の活動を展開して一カ年が経過しました。

当初は会員の募集にも苦労していましたが、時間の経過とともに町内外より多くの方々に入会頂き、大きな推進力を得ることができました。

今年度の事業も、今回の金堂まちなみ保存会ニュース第七号発行をもって全て終了いたしますが、こうした事業への対応も、総務・事業・普及啓発・金堂まちなみ保存交流会館活用運営の各委員会で熱心に活動して頂いた結果と確信しています。

本年九月に開館予定です。未だ運営・活用等の再考等、大きな課題があります。が、決してひるむことなく、皆で英知を結集し対処して参りたいと思っております。

会員の皆様は勿論、五個荘金堂町の皆様の更なるご理解・協力を頂き、今までの人任せ・事なかれの時代を捨て、全員が参画した新しいまちづくりを行い、素晴らしいまちなみの保存に力を出し合っていくことであります。

最後に、いつまでも心に留めておきたい私の好きな言葉、聖徳太子の十七条憲法第一条の現代語訳を転載いたします。

(中略)

人々が上も下も和らぎ、睦まじく話し合いが出来るならば、ことがらは自ら道理に適い、何事も成し遂げられないことは無い。



第7号  
平成20年 3月29日発行  
発行者: 特定非営利活動法人  
金堂まちなみ保存会  
理事長 西村 實  
普及啓発委員会



組織の強化を図り、新しいまちづくり推進の一翼を担うべく、金堂まちなみ保存会は昨年法人化を実施し、特定非営利活動法人金堂まちなみ保存会となりました。そして市民主役の活動を展開して一カ年が経過しました。

当初は会員の募集にも苦労していましたが、時間の経過とともに町内外より多くの方々に入会頂き、大きな推進力を得ることができました。

今年度の事業も、今回の金堂まちなみ保存会ニュース第七号発行をもって全て終了いたしますが、こうした事業への対応も、総務・事業・普及啓発・金堂まちなみ保存交流会館活用運営の各委員会で熱心に活動して頂いた結果と確信しています。

(理事長 西村 實)